

さいたま市立海老沼小学校における オンライン型自転車交通安全教室の実施

去る6月4日(金)に、さいたま市立海老沼小学校(さいたま市見沼区)の4年生(3クラス)を対象として、Zoomを使った双方向通信によるオンライン型自転車交通安全教室(45分)を実施しました(主催:(一財)日本交通安全教育普及協会 後援:文部科学省 協力:さいたま市立海老沼小学校)。

このオンライン型自転車交通安全教室では、講師は当協会の職員が務め、児童は東京から配信された臨場感ある動画やCGを使った映像・音声により学習しました。また、通常の授業と同様に各教室で実施したことで、コロナ禍でも感染のリスクが少ない中で受講できました。

さらに、文部科学省のGIGAスクール構想実現を目指し配布された1人1台のタブレットを使って、安全行動の意思決定に向けて、児童が主体的な学びを行うオンライン双方向学習の1つのモデルとなることも期待されます。

学習のねらい・自転車の基本的な交通ルールを確認する。

- ・交通状況を読み取り、起こりうる危険を予測できるようにする。
- ・交通状況に合わせた、安全な行動が取れるようにする。
- ・将来の交通社会の一員として、歩行者等への思いやりのある運転ができるようにする。

学習内容

交通法規学習：・自転車の基本的なルールを確認する。

小学生の交通事故の種類や自転車事故が多く発生している実態を知らせるとともに、自転車の基本的な交通法規についてスライドで時折クイズを交えながら分かりやすく説明し学習する。

危険予測学習：・交通状況を読み取り、起こりうる危険を予測できるようにする。

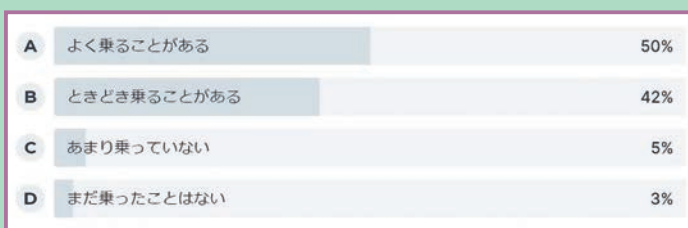
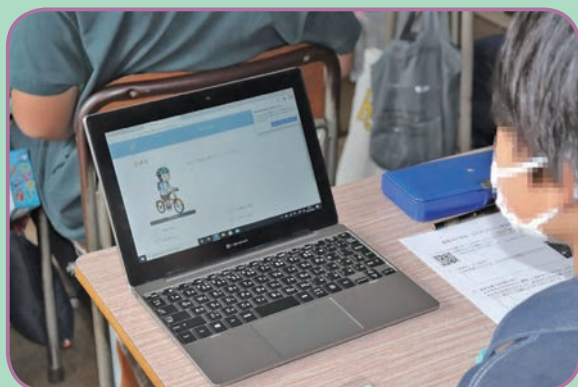
路上駐車をしている車の側方を自転車で通行するとき、どのような危険や事故が発生する恐れがあるかを考えさせ、小グループで話し合った内容を発表することで危険予測の方法や、見えない危険(潜在危険)についても気づかせる。

- ・3D映像を使い、この交通場面の安全な通り方、安全確認の仕方を知らせる。
- ・話し合った内容を基に、自分でできる行動目標を立てる。

ま と め：・事故時の対応と自転車保険について

タブレットを使い、講師の質問に答えました。

Q：あなたは、自転車に乗ることが、どのくらいありますか？



小学生の自転車の事故は
4年生の事故が一番多い。

交通法規学習：自転車の基本的な交通ルールを学びました。



自転車の基本的なルールをクイズ形式で学びました。

小学生は歩道を通行できますが、歩道のどこを通りますか？

危険予測学習：映像を見て、みんなで安全について考えました。



この場面を自転車で走ろうとしたとき、どのような危険・事故が起こりそうか考えました。



自分の考えをワークシートに書き込みました。



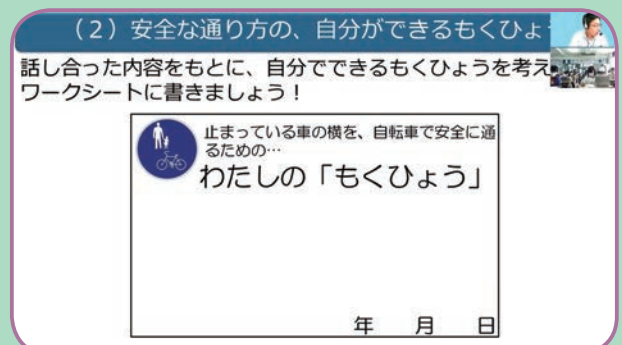
小グループに分かれて安全な通り方をみんなで話し合いました。



小グループでまとめた内容を代表者が発表し、みんなで共有しました。



安全な通り方(模範走行)をCGにより確認しました。



安全行動が実践できるように「わたしの『もくひょう』」に書き込みました。